

科目区分	基礎科目	科目名	韓国語		科目コード	10305	担当者	金英泰	
対象学生	生活創造学科1年生 幼児教育学科2年生		学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	選択必修	
							免許・資格要件		
科目の主題							成績評価の方法と割合		
1. ハングル（韓国語）に親しくなり、読み方、書き方、発音、文法の基礎を学ぶ。ヒアリング・会話能力を習得する。 2. パソコン上で韓国語の文字入力およびインターネット検索ができるように学ぶ。							①受講態度（60%） ②提出物（20%） ③臨時試験（20%）		
科目の到達目標							教育目標に基づく学修成果の到達目標		
							誠実な人柄と人間力（尽心）	高度な知性と創造力（創造）	明確な意志と実践力（実践）
1.	ハングルを読む、書く、聞く、話すことができるようになる。初級								○
2.	ハングルによる基本的ITリテラシーを身につける。 （ハングル文字入力、E-mail、インターネット検索など）								○
3.	授業を通じて、韓国文化を学びながら国際的なコミュニケーション能力を高める。 （韓国の食文化、伝統文化、韓国ドラマ、芸術など）						○	○	
4.									
5.									
授業方法									
授業方法は講義・演習・グループワーク、プレゼンテーション等を用いて行う。									
準備学修（予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容）									
授業の進行に合わせ、テキストを事前学習しておくこと、また、課題学習については指定した期日に必ず提出すること。									
授業計画									
第1回	オリエンテーション、文字のしくみ				第16回	ハングルの文法・文型			
第2回	ハングル文字の基本と発音				第17回	文型の応用			
第3回	ハングル文字の基本と発音				第18回	ハングルの文法・文型			
第4回	パソコンを用いたハングル入力方法				第19回	文型の応用			
第5回	パソコンを用いたハングル入力方法				第20回	ハングルの文法・文型			
第6回	ハングルメールの書き方				第21回	文型の応用			
第7回	韓国文化に関するDVD鑑賞など				第22回	韓国のDVD鑑賞（ヒアリング学習）			
第8回	ハングルの基本文法（テキスト用）				第23回	文章読解			
第9回	ハングルの基本文法				第24回	文章読解			
第10回	文章読解の基礎				第25回	文章読解			
第11回	文章読解の基礎				第26回	基本文型の応用を用いた会話			
第12回	ハングル会話の初歩				第27回	基本文型の応用を用いた会話			
第13回	ハングル会話の初歩				第28回	基本文型の応用を用いた会話			
第14回	韓国のDVD鑑賞（ヒアリング学習）				第29回	韓国のDVD鑑賞（ヒアリング学習）			
第15回	前期のまとめ 小テスト				第30回	全体のまとめ 課題発表			
教科書・参考書					受講生へのメッセージ				
基礎から学ぶ韓国語講座（初級）木内明著 国書刊行会					外国語の学びは、地道な勉強が必要です。予習や復習をしっかりと行って下さい。やればできるという自信をもつこと。そうすれば、楽しくなってきます。実践的な韓国語を楽しく学んでいきましょう。 ハングルを学びながら、パソコンでの入力方法も練習します。				